

かわさき商工人

安達製作所は、機械加工の分野で、その精密性には定評があり、とりわけ、旋盤加工に使用する独自で開発した「ワンタッチジョー」は、旋盤加工に必要な部品の取り換え作業を、部品交換ではなく、ワンタッチで回転し切削部分を換えられるようにしたことで、作業工程を飛躍的に軽減できるようにした優れ物だ。

安達社長は、川崎の東京自動車工業(現・いすゞ自動車)へ十代で第一期技能者養成工として入社。戦争が深刻化するにつれ、軍需工場で働くようになった。しかし、茨城の実家(農業)にいた兄が召集され、代わって故郷を守るために一時帰郷。戦

(株)安達製作所

代表取締役社長 安達 一夫さん(84)

▷15<



現場主義を第一に

後昭和二十一年に兄が復員する針や「物は掌で作るもの」と、再び川崎へ戻り機械工という現場第一主義の考え方から

(川崎商工会議所企画広報部 白土 慎)

モットー第一の現場主義を貫く安達社長

て経験を重ね、昭和三十二年に養成工時代の先輩と「安達製作所」を立ち上げた。設立以来信用第一をモットーに経営をしてきている。利益追求より利益還元を重きと置く。今後どんなことがしたいか尋ねると「米寿に備えて伝記本で置くか」と声をたてて笑いながら話した。久々に町工場の「オヤジ」に会えた気がした。

(有)安達製作所 川崎市幸区小向西町1の18。☎044-511-5329。1957年創業。従業員17人。資本金200万円。